

第1回

トップアスリーのまち・北区推進協議会会議録

令和4年6月29日

第1回 トップアスリートのまち・北区推進協議会

開催日時 令和4年6月29日(水) 開会 午後7時00分 ~ 閉会 午後8時00分

出席委員 (20人)

座長 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科 齊藤 恭平

副座長 北区町会自治会連合会 大貫 新一

委員 北区スポーツ大使 高橋 勇市

委員 日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスセンター運営部 中村 勝尚

委員 東京都北区体育協会 田草川 昭夫

委員 特定非営利法人 れっど★しゃっふる 宮坂 一郎

委員 コミスポたきのがわ 大竹 秀樹

委員 北区スポーツ推進委員協議会 葛西 大

委員 東京ヴェルディ 常田 幸良

委員 北区商店街連合会 尾花 秀雄

委員 東京商工会議所北支部 越野 充博

委員 公益財団法人 北区文化振興財団 石山 泰史

委員 北区立小学校体育会 江口 千穂

委員 北区立中学校体育会 守谷 暢明

委員 北区小学校PTA連合会 針谷 泰介

委員 北区立中学校PTA連合会 関口 正法

委員 北区政策経営部 中嶋 稔

委員 北区教育委員会事務局教育振興部 小野村 弘幸

委員 北区地域振興部 松田 秀行

欠席委員（8人）

- 委員 北区スポーツ大使 上田 春佳
- 委員 北区スポーツ大使 石野 枝里子
- 委員 北区スポーツ大使 宇山 賢
- 委員 北区スポーツ大使 小川 仁士
- 委員 北区スポーツ大使 澤田 優蘭
- 委員 東京都障害者総合スポーツセンター 高山 浩久
- 委員 東京北区観光協会 大前 孝太郎
- 委員 北区青少年地区委員会会長会 鈴木 将雄
- 委員 北区青少年委員会 恒松 晃

オブザーバー、ゲストスピーカー（1人）

- 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科 谷塚 哲

次 第

1 開会

2 座長あいさつ

3 報告事項

(1) トップアスリートのまち・北区推進協議会について (資料1)

(2) 「トップアスリートのまち・北区」の取組みに関する報告及び今後の展開について (資料2)

(3) ハンガリー関連事業の展開について (資料3)

4 協議事項

(1) 協議会内での情報共有・発信について (資料4)

(2) 協議会内での事業連携について (資料5)

5 情報提供

(1) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会1周年記念事業(都内非営利団体等向け)について (資料6)

6 各団体・機関からの報告

7 今後のスケジュール

8 閉会

午後7時00分開会

第1回トップアスリートのまち・北区推進協議会

令和4年6月29日

【事務局】

まだお揃いでない方もいらっしゃると思いますが、時間となりましたので進めさせていただきます。このたびはお暑い中、またお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。私事務局の北区スポーツ推進課長の戸澤でございます。後程報告させていただきますが、区の組織改正がございまして、東京オリンピック・パラリンピック担当課長の上里の後任ということになります。どうぞよろしく申し上げます。

それでは協議会の開催に先立ちまして、トップアスリートのまち・北区推進協議会の座長、副座長の任命についてご説明をさせていただきます。昨年度まで開催しておりました北区リレーションシップ協議会、こちらで築き上げて参りました繋がり・連携をレガシーとして継続していくために、引き続き座長を東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ科学の齊藤様に、副座長を北区町会自治会連合会会長の大貫様にお願いさせていただきたいと思っております。

皆様におかれましては、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは齊藤座長よろしくお願い申し上げます。

【齊藤座長】

はい。それでは、ただいまから第1回トップアスリートのまち・北区推進協議会を開催いたします。ただいまご紹介いただきました、東洋大学の齊藤でございます。本日はよろしくどうぞお願いいたします。

いやそれにしても、暑いですね。夕方になって少し落ち着いて参りましたがけれども、異常な気温がずっと続いております。暑い中お集まりいただきましてという言葉は6月には似合わないんですけども、そういう言葉が出てしまいます。

今、事務局からお話がありましたが、会議について、いわゆる東京オリパラのレガシーを引き継ぐ形で、スポーツに関わる関係団体、関わらない団体も含めてですね、様々なネ

ットワークの中でスポーツ推進をしていくと。それによってですね、名実ともにトップアスリートのまちを形成していくということを主眼に置いております。

ぜひ今日も活発な情報交流、ご協力をしていただければというふうに思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、今日の進行に関してですけれども、いつも通り議事録の作成をいたします。前にテーブルがありますが、そこに録音の機械を設けてございます。発言する際にはマイクをお回しいたしますので、マイクを使ってご発言いただければというふうに思います。あわせて、会議の風景の写真を撮らせていただくということをご了承いただきたいといたします。加えてですね、この会議は公開を原則としており、傍聴の方が入る可能性がございます。また、議事録を北区ホームページに公開することもご承知いただきたいと思っております。

今日はですね、実はこの会議の皆さんのお役に立てるような人材ということで、私の左隣に座っておりますけれども、私ども東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科の教員をしております、谷塚哲先生と一緒に来ていただきました。

【谷塚氏】

改めまして、東洋大学の谷塚と申します。よろしくお願いいたします。

スポーツマネジメントとかスポーツビジネスとか総合型スポーツクラブですとか、その辺のところを専門にさせていただいております。昨年の4月から、齊藤先生と大学の赤羽キャンパスにきております。今後とも皆さんのお力になればと思いますので、よろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

今日は、いわゆるゲストオブザーバーという形で参加いただきたいと思いますが、次回以降は事務局等と相談しながらですね、できましたらこの会議メンバーということで、加えていただければなというふうに考えてございます。よろしくお願いいたします。

では次に委員の紹介を。会議の名称が変わってキックオフの位置付けもありますので、それぞれご参加の委員の方々、自己紹介を簡単に結構です。私の右隣の方からですね、順番にご紹介いただければと。それではよろしくお願いいたします。

【大貫副座長】

先ほどもご紹介いただきました、北区町会自治会連合会の会長をさせていただいております、大貫でございます。昨年度に引き続きまして、また副座長を務めさせていただくことになりました。地域の活性化とともに、いろいろな経験をもとにして、またこの会を推進させていただけるように、微力ながら力をつくさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【高橋委員】

スポーツ大使をしております高橋勇市です。北区に20何年住んでおりますけども、パラリンピックに3大会連続で出場しました。今も現役でマラソン、そしてトライアスロンの競技を続けております。よろしくお願いいたします。

【中村委員】

初めまして。私は日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター運営部長の中村と申します。我々のところでは国立スポーツ科学センター、味の素ナショナルトレーニングセンター、それから味の素フィールド西が丘の運営を行っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【田草川委員】

北区体育協会の専務理事、田草川と申します。前任者、根本というものがおりましたけれども、この6月に根本に変わりました専務理事となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

【宮坂委員】

皆さんこんばんは。総合型地域クラブ、NPO法人れっど★しゃっふるの副理事長をしております宮坂と申します。前任者は女性の吉村でございましたけども、今期から私の方でこの会議に参加させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【大竹委員】

こんばんは。総合型地域スポーツクラブ、コムスポたきのがわ理事長をしております大竹と申します。コムスポは2018年1月にオープンして今期で5期目になります。何とか拡充していきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

【葛西委員】

皆さんこんばんは。北区スポーツ推進委員協議会で会長をさせていただいております葛西と申します。総合型、地域スポーツクラブの支援であったり、区民のスポーツ実施率向上のために、日々、何をしたらいいのか、ない頭を使って考えております。どうぞよろしく願いいたします。

【常田委員】

皆さんこんばんは。今年度から、本協議会の正規構成員として参加させていただくことになりました。東京ヴェルディ株式会社常田と申します。どうぞよろしく願いします。私どもが運営する日テレベレーザという、女子サッカーチームが北区をホームタウンとして昨年から活動しております。どうぞよろしく願いいたします。

【中嶋委員】

北区の政策経営部長の中嶋と申します。引き続きよろしく願いいたします。

【小野村委員】

北区役所教育振興部長の小野村と申します。私も引き続きでございます。どうぞよろしく願いいたします。

【松田委員】

地域振興部長の松田でございます。どうぞよろしく願いいたします。この4月に藤野に代わりまして、着任をいたしました。どうぞよろしく願いいたします。

【関口委員】

こんばんは。北区中学校PTA聯合会を代表して参りました。王子桜中学校PTA会長の関口と申します。ちょっとまだ繋がりがわかってない部分もあるので、これから教わりながら、参加させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

【針谷委員】

北区立小学校PTA聯合会から代表としてきました針谷泰介と申します。子供たちの夢見るまちを思い描いて、皆様と一緒に微力ながら活動できたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【守谷委員】

皆さんこんばんは。北区立中学校体育会から参りました十条富士見中学校校長の守谷暢明です。今期から委員になりましたのでどうぞよろしくお願いいたします。

【江口委員】

こんばんは。北区小学校の体育会から参りました。王子第二小学校長の江口と申します。守谷先生と同じで今期からのお仲間をさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

【石山委員】

北区文化振興財団事務局長でございます。引き続きでございます。どうぞよろしくお願いいたします。北区文化振興財団では、文化の側面から、トップアスリートのまち・北区を盛り立てていくことに携わっていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【越野委員】

こんばんは。東京商工会議所北支部会長を務めております越野でございます。今、商工会議所では健康経営という、職員の方の健康というものを中心にしながらの経営ということもやっておりまして、スポーツとの親和性も非常に高いと思っております。いろいろな

地域づくりの面でもご協力させていただきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

【尾花委員】

改めまして、こんばんは、北区商店街連合会の代表をしています尾花と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局戸澤】

改めまして皆さんこんばんは。スポーツ推進課長の戸澤と申します。昨年11月の北区リレーションシップ協議会に参加させていただきました。後程ご説明いたしますが、東京2020大会終了に伴いまして、東京オリンピック・パラリンピック担当課が、スポーツ推進課と統合されたというところがございます。スポーツ推進課が協議会の事務局となりますので、今後よろしくお願い致します。

なお、前任の上里から皆さんにメッセージを預かっておりまして、この場をお借りしてご紹介したいと思います。

「日頃より、北区のスポーツ推進にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。東京2020大会に向けた様々な取り組み等、関係団体の皆様方のお力添えがなければ実現できないことが多くありました。改めて皆様に感謝申し上げます。引き続き、トップアスリーのまち・北区を推進し、スポーツを軸とした地域活性化を図るため、ご協力いただければと思います。経営改革・公共施設再配置推進担当課長 上里亮太」

ありがとうございました。

【事務局渡辺】

4月より事務局を担当させていただいております。トップアスリーのまち推進係長の渡辺と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局藤原】

同じく担当しておりますトップアスリーのまち推進係の藤原と申します。よろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

ありがとうございます。それでは報告事項の方に入って参りたいと思います。報告事項(1)の「トップアスリートのまち・北区推進協議会について」ということでこちら資料1ですが、事務局の方、ご説明お願いいたします。

【事務局】

それでは、トップアスリートのまち・北区推進協議会についてご説明をさせていただきます。1の目的をご覧ください。昨年度の北区リレーションシップ協議会では、東京2020大会関連イベント、ハンガリー関連事業、実施はできなかったものの聖火リレーボランティアの協力など、様々な場面で委員の皆様にお力添えいただいたところがございます。

中段以降にございますように、東京2020大会終了も、開催前から北区リレーションシップ協議会におきまして、北区関係団体、機関、地域で北区一体となったことを、東京2020大会のレガシーととらえまして、継続的に関係者間の情報共有、並びに連絡調整を強化、及びさらなるスポーツの推進を目的といたしまして、令和4年度以降も、トップアスリートのまち・北区推進協議会を設置していくということで、前回のリレーションシップ協議会で、委員の皆様からのご承認をいただきまして、本日の開催に至ったところがございます。

2の概要でございますが、構成員について、新たに委嘱しました北区スポーツ大使、フェンシングの宇山賢氏、車いすラグビーの小川仁士氏、パラ陸上の澤田優蘭氏の三名と、北区と連携協定を結んでおります、東京ヴェルディ株式会社を協議会構成団体に追加したということから28名と増員となったところがございます。齊藤座長からもお話があった通り、東洋大学ライフデザイン学部の谷塚さんも構成員として今後調整して参ります。

座長・副座長は冒頭ご案内いたしましたとおり、座長を東洋大学ライフデザイン学部の齊藤教授、副座長を北区長会自治会連合会会長の大貫会長に引き続きお願いしたところがございます。

資料をおめくりいただきまして、(3)の議題は資料にお示しの通りでございます。引き続きこの内容で協議会を行って参ります。

(4)の開催頻度でございますが、年に1回か2回を想定しております。今年度は冬に日本で柔道のグランドスラムが予定されておきまして、それに伴いハンガリーが日本で練習予

定でございます。そのタイミングに合わせてお集まりいただくことを想定しております。
以上ご報告申し上げます。

【齊藤座長】

ありがとうございます。ただいまの報告に関して何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。よろしいですか。ご了解いただいたというふうにしたいと思います。

では、次に(2)番になりますが、「トップアスリートのまち・北区の実施に関する報告及び今後の展開について」こちらの方も事務局の方をお願いします。

【事務局】

資料2 ご覧いただきたいと存じます。トップアスリートのまち・北区、こちらの実施に関する報告及び今後の展開についてご説明をさせていただきます。

それでは資料2 ご覧いただきまして、1の要旨でございます。前回皆様にお集まりいただきました、昨年11月以降の実施、こちらと今後についての報告ということでございます。また、東京2020大会開催の1周年を記念して実施する東京都の実施、こちらと連携いたしまして、東京2020大会を地域のレガシーとするため、同大会に出場しました北区ゆかりのアスリートと地域が繋がる取り組みを検討して進めて参ります。

次に2の事業報告、こちらをご覧ください。まず一つ目でございます。(1) 聖火リレートーチの巡回展示でございます。新型コロナウイルス感染の拡大によりまして、オリンピック・パラリンピックともに公道での走行が実現できませんでしたので、お示しの通り、区内の小中学校、保育園、認定こども園を対象に、聖火リレートーチの巡回展示を実施いたしました。今後は、学校等の教育、保育施設だけでなく区内の施設に展示できるよう進めて参ります。

続いて(2)でございます。今年の2、3月に開催されました、北京冬季オリンピックにつきまして、北区ゆかりのアスリートが出場いたしました。お示しの通り、オリンピックでは女子アイスホッケーに小池詩織選手、フリースタイルスキー女子ハーフパイプに鈴木沙織選手、パラリンピックでは小池岳太選手が出場いたしました。区では、選手の出場情報や結果等を区のホームページやSNSで発信させていただきました。

続きまして (3) でございます。北区スポーツ大使の委嘱式を実施いたしました。先ほども触れましたが、フェンシングの宇山賢氏、車いすラグビーの小川仁士氏、パラ陸上の澤田優蘭氏、こちら3名をスポーツ大使として委嘱しまして、委嘱式を今年3月28日に区長応接室で行ったところでございます。各選手のキャリアにつきましては別紙に示してございます。これで、北区のスポーツ大使はお示しの3名と合わせまして6名となりました。

また、資料に記載ございませんが、令和4年3月に北区スポーツ大使の高橋勇市氏にインタビューを実施いたしまして、次期のパリパラリンピックのトライアスロン出場を目指す高橋氏の現況と今後について伺いました。なお、新スポーツ大使委嘱につきましては、アスリート手形モニュメントの完成報告とあわせまして、北区ニュースの4月10日号の一面に掲載をいたしました。

続きまして、3、令和4年度の事業報告でございます。(1) 第19回アジア競技大会卓球競技選手選考会について、こちら、トップアスリート直伝卓球教室に長年ご協力をいただいております、日本卓球協会からの依頼を受けまして、区との共催事業として、赤羽体育館で今年の4月9日、10日の2日間実施をさせていただきました。別紙にそのときの記事や写真を載せましたので後程ご高覧願います。なお、この第19回アジア競技大会の選手選考会につきましては、世界トップレベルの選手が集まった大会でございましたけれども、赤羽警察のご協力をいただきまして、大きな混乱なく無事終了いたしました。区民の観戦もコロナ禍に配慮しつつ、各日85名、限定で実施いたしまして、お示しのような盛況ぶりでもございました。

また、選考会終了後、卓球のナショナルチームの公式ウェア発表、こちらの記者会見が行われまして、選考会とあわせて、テレビ主要5局を含めまして、各種新聞やスポーツ雑誌等多くのメディアが来場いたしまして、開催地としての区のPRに繋がったというところでございます。

なお、選考会の閉会式では、副区長より、優勝者にしぶさわ君ぬいぐるみ、こちら観光協会の提供でございますが、こちらを贈呈いたしました。大会終了後には、主催の日本卓球協会強化本部長より、もっと大きな大会を北区で実施したいという声もいただいたところでございます。

次に、(2) 北区スポーツコンダクター制度でございます。区内の学校、園、区内団体が実施する事業に、アスリートを派遣する制度でございます。こちら、引き続き4年度も継続して実施しております。6月時点で7校の小学校から申請がございまして、高橋勇市氏、

宇山賢氏、澤田優蘭氏、山田美諭氏等の派遣を予定しているところでございます。こちら、学校といった教育機関、その他の分野の区内団体の事業におかれまして、積極的に利用していただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次に(3)第24回夏季デフリンピック大会出場報告会でございます。令和4年5月にブラジルで、聴覚障害者の世界競技大会であります、第24回夏季デフリンピック競技大会に、区内在住の山田真樹選手、陸上競技でございますが、出場してきたというところでございます。これを受けまして、山田選手を北区役所に招きまして大会出場報告を2日前6月27日に実施いたしました。お示しの通り、日本選手団は大会期間中の選手団内での新型コロナウイルス感染症の増加によりまして、大会途中での全競技の日本代表選手の出場辞退という決定をしたことから、山田選手につきましては100mに出場したところでございましたけれども、メダル獲得を期待されておりました200m等には、出場することができなかったという結果でございました。山田選手の近年における大会成績は、お示しの通りでございます。

なお皆さんへの情報提供といたしまして、次回2025年の大会につきましては日本招致に向けた取り組みが進んでいるところでございます。山田選手も次の大会でのメダル獲得を目標としているということでございました。山田選手からは、北区ゆかりのアスリートとしてご協力いただけるというお話をちょうだいしております。

4今後の予定でございます。東京2020大会開催を契機として創出されました、関連事業をレガシーととらえまして、継続するとともに、大会周年を記念した取り組みを織り込みながら、スポーツを軸としました地域活性化及び魅力発信に取り組んで参ります。また、東京都、NTCやJOC、北区ゆかりのアスリート等々広く連携いたしまして、持続的にトップアスリートのまち・北区の発信を推進していくため、以下お示しの事業を進めて参ります。

(1) JOCオリンピック教室、こちらJOC様主催で、令和4度実施校、つい先日も行った稲付中と今後は飛鳥中、桐ヶ丘中、浮間中を予定してございます。

(2) 車いすフェンシング大会でございます。日時は令和4年7月30日土曜日でございます。場所は赤羽体育館でございます。こちら出場選手は日本パラフェンシング協会から男女、日本代表クラスの選手10から15名程度で試合が行われると聞いてございます。

続きまして(3)の東京2020大会、関連物品の展示・貸出でございます。東京2020大会、こちら開催一周年という時期を活用しまして、東京都と連携いたしまして聖火リレー

のトーチですとか、組織委員会からの譲渡物品の区内展示、区内施設展示や貸し出しを行って参ります。

以上ご報告いたします。

【齊藤座長】

ありがとうございます。ただいまの報告に対してご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。では、次に参ります。

(3) ハンガリー関連事業の展開について、こちらの方も事務局からお願いします。

【事務局】

資料3をご覧ください。ハンガリー関連事業の展開について説明をさせていただきます。1、要旨でございますが、昨年度、東京2020オリンピック競技大会時に実施していました、ハンガリー柔道協会及びフェンシング連盟の事前キャンプにつきまして、感染症対策をして実施したところでございます。結果、メダルを獲得できまして、選手、関係者も全員無事に帰国したと聞いております。区滞在中におきましては、制限がございましたけれども、区民の練習見学や事後交流を実施したところでございます。令和4年度以降も引き続きトップアスリーのまち・北区の発信を一層推進していくために、両競技団体とのスポーツを通じた交流を検討して参ります。

2の方針、現況でございますが、ハンガリー選手団が大会等で来日するタイミングに合わせて、区としまして、交流事業を検討し、実施していく方針で進めております。

今後の予定でございます。(1) としまして、令和4年6月17日、ハンガリー柔道の協会トート会長のヨーロッパ柔道連合会長就任が発表されました。これを受けまして、区と東京商工会議所北支部によります就任祝いのメッセージ、こちらを撮影しまして、送付を予定しているところでございます。

(2) の柔道グランドスラム東京事前キャンプでございます。こちら予定でございますが、令和4年12月2日から4日、東京体育館にて、柔道グランドスラムが開催されますが、開催に合わせて、ハンガリーの柔道選手団が来日し北区で事前キャンプを実施する予定と聞いております。ハンガリーからの来日の際には様々な分野で、委員の皆様のご

協力をいただきながら実施したいと考えてございます。区としましても選手来日の機会をとらえまして、滞在中の練習見学ですとか、交流事業を検討して参ります。

(3) その他について、区民とのオンライン交流やスポーツ教室、ハンガリー応援団を活用しましたPR活動、区内団体や教育団体等と連携した事業を検討して参ります。

以上報告させていただきました。

【齊藤座長】

ありがとうございます。ハンガリー関連事業の報告をしていただきましたが、いかがでしょうか。皆さんの方で何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

では次に参りたいと思います。続きまして協議事項に入ります。協議事項の(1)番です。協議会内での情報共有発信についてということでこちらの方、事務局の方からお願いします。

【事務局】

協議会内での情報共有発信についてご説明させていただきます。資料4をご覧くださいまして、要旨でございますが、こちらトップアスリートのまち・北区推進協議会という新たな名称のもと、協議会内での連携を今後も幅広く行っていくために、協議会の密接な情報共有、及び発信の場を構築していきたいと考えております。

2の事務局を中心とした協議会内の情報共有発信についてでございますが、こちら案として、今回ご提示させていただくものでございます。(1)北区ホームページの活用でございます。協議会構成団体がそれぞれどのような活動事業を行っているのかを、区のホームページに集約するという事で、第一段階としまして、各団体のホームページリンクを掲載する等を考えてございます。

また、周知したいイベント等がある場合、事務局にご連絡をいただきまして、その情報を区のホームページに掲載するという事を考えてございます。これによりまして、区が情報共有のハブとしての役割を持つことで、協議会内での情報共有及び閲覧した方が様々な団体からの情報やすくなります。こちらをもちまして協議会団体、トップアスリートのまち・北区にも興味関心を持ってもらうきっかけになると考えております。

(2) 情報発信についてでございますが、区を中心とした情報発信については、区のホームページやの掲載やその他の情報ツールの活用方法等を調整して参ります。

3の協議会構成団体と連携した情報発信についてでございますが、協議事項において後述いたしますが、東洋大学をはじめとしました協議会構成団体の人員、広報ツールの知識を活用した情報発信を検討して参ります。ご説明は以上でございます。

【齊藤座長】

ありがとうございます。ただいま事務局の方から説明していただきました。これに関していかがでしょうか。これは協議事項ですので、できれば少し時間を取りながら、皆様のご意見等伺いたいなと思っておりますけど。せっかくの機会ですから、例えばどうでしょうかね。

総合型地域スポーツクラブの観点から、情報共有というところで、何かこう、区に要望すること、逆に協力できること等々ございますでしょうか。いかがでしょうか。れっど★しゃっふるの宮坂さん。

【宮坂委員】

宮坂です。情報の発信の一つにはホームページというものがあると思うんですけど、ホームページは見に行かなければならない。これは行政の立場も考えなきゃいけないと思うんですけども、やはり手元に届く情報としてのSNSの活用、協議会としての公式SNSというものを、きちっと公認というか位置付けて、絶えずこう、なんですかね、登録すれば手元に届く情報というのがあれば。ホームページは見に行かなければならないので、情報が手元に届いて欲しいっていうのも、私はありではないかなというふうに思っております。以上です。

【齊藤座長】

同じ総合型スポーツクラブの立場から、大竹さんいかがでしょうか。

【大竹委員】

はい、大竹でございます。今こちらの(1)にありますホームページの活用につきまして、私どもホームページ一応持っております。ただ、閲覧回数とかを見ますと、非常に数が少ないものですから、そこに導くために行政の方にですね、一覧を持っていただいて、そこから私のホームページに来る方が増えるとなれば、この(1)についてはぜひ活用させていただきたいなというふうに思っておりますし、あと相互にですね、情報交換ができればいいかなというふうに感じております。以上です。

【齊藤座長】

ありがとうございます。どうでしょうかね、スポーツ推進委員というような立場から、何か情報発信共有というような、ご意見ございませんか。

【葛西委員】

スポーツ推進委員葛西です。今、タイムリーな話で、現在進行形で我々の協議会のSNSを使って、情報を登録してもらった人用に、公式アカウントを作って、情報を届けるようにする仕組み、ライン公式を、今試験運用中です。まだちょっと発表できるようなレベルではないんですけど、それを種目ごと、ジャンルごとですね、例えばキンボールの情報について。そういうふうに細分化していく仕組みを今、やっているところです。

そう言った、宮坂さんがおっしゃった部分、まさにそうです。見に行く人は見に行きますけど、何かこう、こっちから届けるアクションもしないといけないのかなと思っております。以上です。

【齊藤座長】

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。北区は、担当課は違いますが、「あるきた」というウォーキングのアプリがありますので、iPhoneと何かこう連動したりとか。アプリに縦割りはありません。そののところスポーツなんかが連携していくと、そこからまた情報が取れるかっていうこともできるでしょうし、何か工夫がいろいろできそうですね。

では続きまして、(2)の方に移りたいと思いますが、協議会内での事業連携に関してですけれども、こちらの方を事務局から情報提供していただけますでしょうか。

【事務局】

それでは協議会における事業連携について説明をさせていただきます。資料をご覧くださいと存じます。要旨でございますが、トップアスリートのまち・北区、こちらの幅広い推進を目的にしまして、区内団体との連携した事業の展開を検討していくと。その中で、資料に記載の多くの事例を参考にしまして、区と各団体、団体同士が様々な形での連携を提案、検討できる場としまして、この協議会を有効活用したいというところでございます。

その中でまず、2 東洋大学の連携でございます。(1) 東洋大学施設の活用でございます。東洋大学赤羽台キャンパスは、令和5年4月に新校舎図書館、体育施設が完成予定でございます。体育施設は収容人数数千の体育館や、アーバンスポーツを実施できる設備など、様々なニーズに対応したものとなっております。北区は東洋大学と連携しまして、スポーツ教室や日本卓球協会を初めとする、スポーツ団体が主催の各種大会の開催を赤羽台キャンパスの体育施設で実施することを検討しております。

また2の学生との連携でございます。東洋大学の学生と連携しまして、事業の企画から運営までを共同で実施していくことを検討しておりまして、広報につきましても、学生、特にゼミが所有する広報ツールの活用ですとか、学生ならではの意見を取り入れまして、行政の広報では行き届かない、行き届きづらい範囲に向けた周知が可能と考えているところでございます。スポーツ推進課が掲げるスポーツ推進だけではなく、スポーツを通じた健康づくり、先ほど越野委員から話あった通り、健康づくりに重点を置いた事業ですとか、学生の教育ボランティア、インターンといったスポーツに関する幅広い部署との連携が今後期待できるというところでございます。

この連携につきまして、座長の齊藤教授からコメントをちょうだいしたいのですが、座長お願いいたします。

【齊藤座長】

はい。たまたま今、東洋大学と言葉が続きましたので私の方から少し、お話をさせていただきたいと思いますが、今日初めてご参加の方もいらっしゃると思いますけれども、私も今はライフデザイン学部という囲いの中で、健康スポーツ学科という学科なんですが、これが来年の4月にですね、学部になります。健康スポーツ科学部という学部になります。たまたま私そこの責任者をやるということで、仰せつかってるんですけども、学部の中に、健康スポーツ科学科と、あと栄養科学科という二つ。いわゆるスポーツと栄養の両面からですね。健康やスポーツ科学をするような、そういう学部ができ上がります。もちろん大学院等もありますけど、少し定員が増えて、健康スポーツ学科は230名、栄養科学科は100名で1学年330名。もう、そういった大掛かりな学部ができる。

今はですね、学科の中でもあまり優秀選手、いわゆる運動部の推薦選手っていうのはあまり取っていないんですけども、学部が学部なものですから、かなり多くのスポーツ優秀選手、入って参ります。大体数にして、50名くらいですね。それこそ全国的に有名な、もしくは国際大会、オリンピックに出るような選手も含めて入って参りますので、そういう学生が赤羽の辺りをうろつく形になります。そういった学生も含め、こういった健康とかスポーツに関わる学生が、様々皆さんのところでですね、お邪魔して連携させていただいてですね、様々な活動を実施させていただくような、そういったことになるというふうになっていただければいいかなというふうに期待してるところです。

加えてこちらの方の(1)のところになりましたが、もうご覧になってる方いらっしゃいますが、まだカバーというか、覆いがかかってますけれども、赤羽の駅から見えますね。アリーナができ上がります。バスケットコートが3面というアリーナなんですけども、そこに、ここに書いてある通り約2000人くらい収容できる観客席が設けられます。もうすでにかなりたくさん部分、プロスポーツの競技団体から問い合わせがありまして、要するに試合で使わせてくれということなんですけども、おそらく、あそこ数千単位の試合が行われますので、地元の商工会さんとかですね。商店街さんにも、何か貢献できることになることになろうかなというふうに考えてございますし、またこのアリーナ、基本的に土日は授業等では使わない施設、今のところそういう形で考えておりますので、おそらく北区のスポーツの関係の試合であるとか、関係団体の方々がお使いいただくような、そういう施設になっていけばいいなというふうに考えておりますので、ぜひそういう面でも連携、繋がっていただければというふうに考えております。

あと学生の連携というところがありましたけれども、一方でスポーツの学部ですが、必ずしもスポーツスポーツはしてなくてですね。いわゆるそのコンピューターを使ったりとか、ネットを使ったりとかというような、そういったことに長けている学生も入って参りますので、そういった学生と連携させていただくことによって、先ほどお話があったいわゆるSNS等を使った情報発信みたいなものも、今の学生は得意ですので、そういう面でもそれぞれ連携していければなというふうに考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。このような連携の方向性をここで協議していきたいというふうに存じます。

次に3の東京ヴェルディ株式会社との連携でございます。(1) スポーツの推進及び連携に関する協定、こちら、北区は東京ヴェルディ及び日テレ・東京ヴェルディベレーザと、上記協定を令和2年度に締結しておりまして、スポーツ教室の実施ですとか、区内地域団体と連携した地域貢献事業等を行っているところでございます。

また(2) としまして、日テレ・東京ヴェルディベレーザとの連携でございますが、味の素フィールド西が丘をホームとしまして、チームと一緒にトップアスリートのまち・北区、こちらの推進を図るというところでございます。WEリーグのホーム戦での、北区民を対象としました観戦チケットの招待・優待、北区民観戦DAYと言っていますが、こちらですとか、北区応援サポーターの寄附制度、ふるさと納税の寄付金等の協力等様々な事業を行っているところでございます。今後は、日テレ・東京ヴェルディベレーザ、こちらのチームを新たな北区スポーツ大使に委嘱しまして、さらなるスポーツ推進や区内地域の盛り上げといった連携を検討しているところでございます。

本日、ヴェルディの常田様が参加しておりますので、ぜひこちらについてコメントいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

【常田委員】

はい。今ご説明ありましたが、私ども参加しているWEリーグの試合がですね。年間で最大で10試合。味の素フィールド西が丘で開催いたします。その10試合、いわゆる10日間ですね、10日間に関しては我々試合をお見せすることはできるんですが、その10日以外

に、どのような日程を組みながら企画、皆様との連携、或いは交流を深められるかというのが、最大のポイントでございます、今それを私ども検討しております。やはり北区の皆様、スポーツを通じた交流でございますので、先ほど事務局からご説明がありました、ホームゲームでは北区親子招待ですとか、そういったような実施もしておりますし、或いはふるさと納税の返礼品のですね、特にそういったものもしておるんですけども、今後またさらに北区スポーツ大使ということで、委嘱をしていただくということになっておりますので、今後より一層、この機会を利用してですね、地域のニーズにこたえながら、特に学校訪問、こういったところを強化しながらですね、皆様との交流につなげていきたいなというふうには考えております。

それとともにですね、お手元にですね、これまで北区内で取り組んで参りましたトピックスを資料としてお配りしておりますので、どうぞお時間ある時に、ご覧いただければと思います。よろしく申し上げます。

【事務局】

ありがとうございます。次に4でございますが、北区スポーツ大使との連携でございます。今日来ていただいております高橋勇市氏、上田春桂氏、石野枝里子氏、新たに委嘱しました宇山賢氏、小川仁士氏、澤田優蘭氏にご協力いただきまして、今後のトップアスリートのみち・北区のPR及び推進を図って参ります。区としてはスポーツイベントでの起用ですとか、スポーツコンダクター制度によりまして派遣等を引き続き行って参ります。

本日は北区スポーツ大使の高橋様、ぜひ、今後、大使としてどのような活動をしていくか等のコメントをちょうだいできればと思います。どうぞよろしく申し上げます。

【高橋委員】

スポーツ大使として、スポーツコンダクターの方からの依頼で、いろんな区内の小中学校を中心に講演会活動、そして障害者スポーツの実技体験ですね、そういったものを多く開催していけたらなと思っているんですけども、私の所属している三菱商事株式会社の方から、今年度は無償でもいいから、まずは地元の北区で、小中学校、いろんな民間企業等、無償で講演を多く受けるように、ということで、上司に言われまして、今後の私の評価にも繋がるものがありまして、ぜひ、今日お集まりの皆さん、ご協力いただいて、講演

等無償で行いたいと思いますので、呼んでいただけたら、障害者スポーツのすばらしさだったり、実技体験等、多く実施できたらなと思っております。

東洋大学さんともね、連携ができたらうれしいかなと思ってるんですけども、来週は早稲田大学さんの方の、ボランティア学という授業講師として、初めて、ちょっと講師ということで行ってきますけれども、東洋大学さんともこういった講演ができればいいなと思っております。

【事務局】

ありがとうございます。ぜひこの場で皆さん、ぜひオファーをということでございます。ありがとうございます。

最後、資料をお戻りいただきまして、その他でございます。各事業の実施に際しまして、積極的に区内の関連団体と連携しまして、オール北区で取り組んでいきたいというふうに考えております。今までご紹介しました事業を含めまして、協議会構成団体と区、団体同士が連携を検討できる場としまして、トップアスリートのまち・北区推進協議会を機能させて参ります。以上でございます。

【齊藤座長】

ありがとうございます。皆さんいかがでしょうか。今スポーツ大使の高橋さんから、東洋大学というお話が。早速、うちも考えたいと思います。ぜひよろしくどうぞ。

【越野委員】

はい。今連携の話をしていただいたんですけど、連携というのはお互いがWin-Winで、やるものだと思うんです。この資料の文面は、どっちかっていうと協議会なり北区なりが、東洋大学さんにお世話になる、東京ヴェルディさんにお世話になるっていう、なんかそういう言葉が並んでるように。北区側として何を東洋大学さんに、メリットっていうと違うと思うんですけど、こういうものっていうのがちょっとよく見えない。

例えばこれ数千人規模を収容できるところでスポーツ教室をやるんですか。数千人規模お客さんを呼べるところで。スポーツ教室だったら僕は滝野川体育館でやったらいいと思うんですよ。だから、せっかく1000人規模のものを東洋大学さんがお持ちになって、こ

ういうときに、やっぱり、我々としても、いろいろ知恵を出しながら考えるということ、数千人規模のものを、何かやろうよ、またそういう意味ではこれ卓球大会はそうなのかもしれないけれども、やっぱりそっちに、力点が行くべきなんだろうなっていう気がしますし、何よりもやっぱり、行政がついてる時のよさって、情報の発信力ですよ。だから、さっきの情報発信のところの話に戻ってくるんだけど、情報発信を検討していくなんていう段階ではなくてですね、もう何をやればいかなって、SNSや何かを、どれを選んでいつからやるかっていう話。だからそれをこれから考えていきますよってことなんだけど、もうスポーツ推進課としては、スケジュールを決めているのかもしれないので、それは、決めていたのだったら決めていて、大変いいことだと思いますけれども、少なくともここには決めてるか決めてないかは全然表現されてない。

やっぱりそういうことがちゃんとできたらいいんじゃないかって、このことは僕ずっと、僕だけじゃなくて、情報発信という話はオリパラのときから、ずっと言われている話で、だから、前の蓄積がしっかり活かされて、それで、レガシーをしっかりと抜き出せていくっていうようなことだと思うんですね。だから、例えば、次のお話があるかもしれないですけども、一周年記念事業とかっていうのが、これ東京都が特別にやっていくというんだったらまず、スポーツ推進課として、まず何をやるんだっていうのを示しながら、それをこう、スポーツ推進課がこれをやるんだったら、他として関連事業的にこういうふうやっていこうみたいなことでもって、何かこう幹が太くなって、一周年事業全体で盛り上がるとか、そういう組み合わせの仕方みたいなことを構築していくのが、この協議会の場じゃないかなっていう気がするんですよ。

ですから、もう少し何ていうかな、区側としては、じゃあ、例えばインフラとしていくらっていうのは、ハードだけじゃなくて、ソフトのインフラとしてこういうふうに、緩和をしてやるとかね。どういう広報の基準があるかわからないけれども、東洋大学さんで、これを貸していただけるっていうことをすれば、何か北区でもやらないわけにはいかない。例えば、協議会の発信ツールを使って、東洋大学さんのメリットになるような発信の仕方をするっていうことで少しでもお返ししていくとか、それが連携だと思います。

今、現在進行形でやられていることもいろいろあると思いますから、決して全部否定しているわけでも何でもありませんけれども、この文章からはそういう感じを受けましたので、ぜひご検討いただければなと思います。

【齊藤座長】

ありがとうございます。事務局の方から何かございますか。

【事務局】

実は今までは、区内部で解決してきた部分がございます、今回、トップアスリーのまち推進係を設置したのは、この係や協議会を通じて、こういったこともあります、皆さんどうでしょうっていう形でベクトルを外に出していく。そういった係を目指して、今回設置したものでございますので、貴重なご意見をちょうだいしました。

これを踏まえて、北区が発信していく立場、それに皆さんがのっていただいて、広報PR、そちらの北区のツールを通じて外に発信していくといったようなことも展開して参りますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

【越野委員】

ちょっと1点だけすみません。高橋さんから、高橋さんが三菱商事の所属だって知らなかったんですけど、東京商工会議所の次の会頭にですね、三菱商事の前会長の小林さんが就任することが決まっておりますので、何か東商を使えることがありましたら、高橋さんもぜひ、逆に小林さんを通じて何か動くとかっていうこともできると思います。ぜひ、頭に置いておいていただければと。以上です。

【齊藤座長】

ありがとうございます。東洋大学も、貸すことばかりじゃなくてですね、施設ができればあまりこう、下心あること言っちゃいけないんですけども、大学は基本的には、受験生の確保というところが、最近の命題になっておりますので、今日教育振興部、部長さんもいらっしゃいますけれども、例えば中体連とか高体連の大会なんかは、東洋のアリーナでやっていただくと。そして施設を見た子どもたちが将来はこの大学に行ってみたいなっていうふうに思っただけならば、我々としてもいいかと。今考えておりますので、そういった意味での連携を組めるかなという。

他何かございませんか。よろしいですか。

では協議事項はこれで終了いたしまして、続いては情報提供になります。東京オリパラ競技大会の一周年記念事業についてということで、事務局の方からお願いします。

【事務局】

資料6、こちらをご覧いただきたいと存じます。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会一周年記念事業、こちら、非営利団体向けについてのご説明をさせていただきます。こちら、東京都からのご案内をそのまま資料とさせていただくものでございますが、こちらで申請を行うことで、東京2020大会一周年記念としての事業実施が可能というものでございます。承認を受けることで、東京大会に関する冠称名称の使用ですとか、一周年記念エンブレムの使用が可能になるということでございまして、こちら期間、令和4年12月まででございます。

こちら大会本部からのお話もございまして、知的所有権というものがございまして、勝手にオリパラが終わった後に使えないということでございましたが、今回、こういった形で申請いただければ、使用できるということでございまして、こちらの申請等の様式等は、次第の情報提供の記載のURLからダウンロードができるような状態になってございます。こちらは是非活用していただきたいということで、今回ご紹介した次第でございます。以上でございます。

【齊藤座長】

ありがとうございます。ただいまの情報提供に関して何かご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

では、続いては、各団体機関からの報告ということでこの場で何か報告等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。特にございませんか。よろしいですか。

では、7番、今後のスケジュールということで事務局の方からご説明をお願いします。

【事務局】

今後のスケジュールについてでございますが、先ほどちょっと触れましたけども次回開催は、日本で行うグランドスラムのハンガリー柔道来日のタイミングを予定していると

ころでございます。決定いたしましたら、事務局より連絡をさせていただきますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、情報提供ですとか事務連絡等は随時、事務局の方から皆様に連絡をさせていただきます。逆に委員の皆様からも連絡事項ですとか、ご相談等ございましたら事務局までご要望いただければと存じます。よろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。

【齊藤座長】

ありがとうございます。それでは全体を通じまして何かございますでしょうか。他にございませんか。よろしいでしょうか。

では、ないということですので、これをもちまして、第1回トップアスリーのまち・北区推進協議会の方を閉会したいと思います。どうもありがとうございました。